

# 平成30年度 天子田デイサービスセンター事業報告

【施設種別】介護保険法による通所介護・予防専門型通所サービス【1日利用定員】25名

平成30年度は、①ADL維持向上目的の機能訓練を重点的に行う。②地域共生社会実現の一端を担う。③家族介護者への支援（レスパイト）の3つを計画立て目標としてきた。

①のADL維持向上に関し、個別機能訓練に加え、月替りで運動プログラムメニューを考察し、実施してきた。その結果、利用者が楽しめる運動プログラムを提供することができ、さらに効果測定を行ったことで参加目的や目標が明確になり、参加意欲を実感することができた。

②の地域共生社会実現の一端を担うことに関して、今年度も障害を持つ利用者の受け入れには迅速に対応を行うことで、安定した利用者登録人数を維持することができた。

③のレスパイトに関しては、早朝対応や送り時間の調整を幅広く行うことで、家族の要望に出来る限り応えてきた。

しかしデイサービス飽和状態の中、他の事業所に差をつけるサービスまでは展開できなかったことも、稼働率が50%台と大きく落ち込む結果に繋がったと考えられる。

## 1 基本方針

当施設にあっては、創設者の「愛するものは愛される」の経営理念に基づき、長年のデイサービスセンター経営の経験と、そのノウハウの蓄積を活かし、「尊厳と生きがいのある生活」「利用者本位の自立支援」を基本として、利用者の要介護状態の軽減もしくは悪化の防止、又は、要介護状態となることの予防を資するものである。

## 2 介護度の改善・維持の取り組み

介護保険のサービスの基本は、「利用者本位」のサービスであり、「自立支援」にある。そのためにケアマネとの連携を図り、利用者課題の把握に努め、ケアプランに基づいた個別プログラム（歩行・立ち上がり・発声など）により利用者の介護度の改善と維持に取り組んだ。

## 3 介護予防通所（予防専門型通所）事業への取り組み

平成18年度より「介護予防通所事業」が実施された。当デイサービスにおいても「要支援」利用者の要望があり、送迎、入浴、食事、機能訓練を含めたアクティビティを中心に事業の実施を行ってきた。その中で今年度11月からは総合事業対象者（自立の方で名古屋市独自のチェック項目に該当となった方）の利用も加わった。

## 4 ユーザー評価事業及び情報開示事業の実施

施設経営には基本的理念、経営方針はもとより、利用者の権利擁護、人権の尊重といった根源的な理念を踏まえた民主的で健全な事業経営が求められている。ユーザー評価事業及び情報開示事業の実施により、利用者、家族の「安心」と「信頼」を得られるよう、常にサービスチェックを行い、問題の洗い直しと改善目標を設定し、サービスの向上に努めた。

## 5 アクティビティ活動の促進

季節に応じたイベント行事やレクリエーション活動と、今年度は個別機能訓練に加え、月替わりの運動プログラムメニューと効果測定を新たに提供することで、日常生活動作（ADL）の維持向上における意識を高めた。（詳細は表 18（一日のサービス実施内容）参照）

## 6 事故防止対策の取り組み

事故報告とヒヤリハット報告を毎月の職員会議の議題で取り上げ検証を行い、周知・徹底を図る事が大きな事故を未然に防ぐ事に繋がるという認識を職員が持ち、事故防止に取り組んだ。また事故発生時においては、「事故・苦情マニュアル」に基づき迅速に対応するよう努めた。

## 7 相談・苦情

利用者・家族からの苦情は、施設に対して抱く期待や要望が裏切られたと感じた時に、不満となって跳ね返ってくる事が多く、苦情・要望・意見は業務改善に繋がるものである。利用者・家族からの率直な意見を、適切に収集し、真摯に受け止めるために「相談（苦情）受付表」と「できごと報告書」の手順と書式を改め、活用に努めるとともに、利用者懇談会を設け、利用者の意見や要望に対して、出来る限りの改善に努めた。

また日頃から、何気なく交わされる会話の中で、利用者や家族の悩み・不満を察知し、話をする機会を設けるなど、早めに問題解決を行った。ケアマネからの相談・苦情についても、円滑、迅速に対応した。

## 8 個人情報の保護

当デイサービスセンターは、日常、利用者の情報及びプライバシーを多く扱っており、その性質上いったん誤った取り扱いをすると利用者に被害を及ぼすおそれがあり、全職員に「個人情報」の管理及び適切な使用など、周知徹底に努めた。

## 9 職員の安全衛生・ストレスチェック・リフレッシュ事業の取り組み

近年、職場での心理的負荷（精神的ストレス）によるところの病気が問題となっている。職場内において事前に予防するメンタルヘルスや、安全衛生の取り組み（交通安全危険予知や感染症対策・不審者対応等）を行い、この事業を通じて心理的、精神的負荷の軽減を図り、より良い職場環境と健康（心身）を保持し、良質な介護サービスが提供できるように努めた。

今年度も、映画チケットの配布や、助成制度ありの観劇チケット入手機会を設ける等、他部署との会食以外にも、職員のリフレッシュを心掛けた。

## 10 設備・備品の改善

・AED のバッテリー、パッド交換 ・1F 天井照明 LED 化 ・送迎車修理 EV 制御リレー、サージノイズフィルター交換 ・IPAD 導入 ・体操クラブ用品購入 ・チェア浴台車キャスター交換 ・乾燥機の扉補修 ・防災用品補充 ・貯水槽の清掃・風呂場混合栓の補修

### 11 職員の配置状況

(平成 31 年 3 月 31 日現在)

	施設長	生活相談員	看護師	介護士	計	兼務
正職員	1	3	—	2	3	③
臨時職員	—	1	—	1	1	①
非常勤職員	—	3	4	8	10	⑤
計	1	7	4	11	14	(⑨)
兼務	①	⑦	④	⑦	—	—

### 12 職員の研修状況

4 月	・介護記録を書く目的と意義と注意点	内部研修
5 月	・当該サービスに関する研修（接遇及び利用者や家族との関係構築）	内部研修
6 月	・事故発生（緊急）時の対応に関する研修	内部研修
7 月	・感染症及び食中毒の発生の予防及び蔓延の防止に関する研修	内部研修
8 月	・非常災害時の対応に関する研修	内部研修
9 月	・認知症ケア及び認知症ケアマニュアルの履修、検証	内部研修
10 月	・当該サービスに関する研修（接遇）	内部研修
11 月	・倫理及び法令遵守に関する研修	内部研修
12 月	・プライバシー（個人情報）保護についての研修	内部研修
1 月	・福祉サービス苦情相談事業研修会 ・感染症対策の研修	外部研修 内部研修
2 月	・身体拘束排除の取組みに関する研修	内部研修
3 月	・当該サービスに関する研修（レクリエーション・リハビリ） ・通所介護の加算取得による収益UPと運営効率化セミナー	内部研修 外部研修

### 13 区別登録者の状況

(平成 31 年 3 月 31 日現在)

	守山区	千種区	名東区	尾張旭市	計
男性	8 人	0 人	0	0	8 人
女性	21 人	1 人	0	2	24 人
計	29 人	1 人	0	2	32 人

### 14 利用者の要介護度の状況

(平成 31 年 3 月 31 日現在)

登録現員	事業対象	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	平均介護度
32 人	0 人	0 人	3 人	12 人	12 人	2 人	2 人	1 人	—
100%	0%	0%	9%	38%	38%	6%	6%	3%	1.9
29 年度	—	2%	12%	35%	35%	9%	5%	2%	1.9

## 15 利用の状況

(平成 31 年 3 月 31 日現在)

	実施 日数 (日)	登録者数 (人)		延利用者数 (人)			1日当 りの平均 利用人数	30年度 利用率 (稼働率)	29年度 1日平均 利用人数	29年度 利用率 (稼働率)
		総合 事業	通所 介護	総合 事業	通所 介護	利用者 数合計				
4月	25	8	42	34	398	432(38)	18.80	75.20%	20.00	80.00%
5月	27	8	39	39	391	430(26)	16.89	67.56%	19.26	77.04%
6月	26	7	39	34	372	406(32)	16.85	67.38%	18.07	72.28%
7月	26	6	41	28	397	425(41)	17.92	71.69%	19.30	77.20%
8月	27	5	42	17	392	409(42)	16.70	66.81%	18.33	73.32%
9月	24	5	40	14	353	367(38)	16.88	67.50%	18.00	72.00%
10月	27	4	42	13	381	394(45)	16.26	65.04%	19.35	77.40%
11月	26	5	37	20	312	332(42)	14.38	57.54%	18.96	75.84%
12月	25	5	37	17	339	356(50)	16.24	64.96%	19.00	76.00%
1月	25	5	35	16	300	316(43)	14.36	57.44%	18.17	72.68%
2月	24	5	32	22	280	302(44)	14.42	57.67%	16.58	66.32%
3月	26	3	29	16	286	302(50)	13.54	54.15%	17.26	69.04%
計	308	66	455	270	4201	4,471(491)	—	—	—	—
平均	25.6	—	—	—	—	—	16.11	64.44%	18.53	74.12%

## 16 利用者のADLの状況

(平成 31 年 3 月 31 日現在)

ADL		男性	女性	計	割合
歩 行	全 介 助	2 人	1 人	3 人	10%
	一部介助	2 人	3 人	5 人	15%
	自 立	4 人	20 人	24 人	75%
食 事	全 介 助	0 人	0 人	0 人	0%
	一部介助	0 人	0 人	0 人	0%
	自 立	8 人	24 人	32 人	100%
入 浴	全 介 助	0 人	1 人	1 人	3%
	一部介助	5 人	9 人	14 人	44%
	自 立	3 人	14 人	17 人	53%
着脱衣	全 介 助	0 人	1 人	1 人	3%
	一部介助	5 人	9 人	14 人	44%
	自 立	3 人	14 人	17 人	53%
排 泄	全 介 助	1 人	1 人	2 人	6%
	一部介助	1 人	2 人	3 人	9%
	自 立	6 人	21 人	27 人	85%
認 知 症		5 人	22 人	27 人	84%

※重複あり・障害者含まず

## 17 年齢別の状況

(平成 31 年 3 月 31 日現在)

	男性	女性	計	割合
60 歳～64 歳	0 人	0 人	0 人	0%
65 歳～69 歳	0 人	1 人	1 人	3%
70 歳～74 歳	1 人	1 人	2 人	6%
75 歳～79 歳	2 人	4 人	6 人	19%
80 歳～84 歳	3 人	7 人	10 人	31%
85 歳～89 歳	0 人	6 人	6 人	19%
90 歳～94 歳	2 人	4 人	6 人	19%
95 歳～99 歳	0 人	1 人	1 人	3%
100 歳以上	0 人	0 人	0 人	0%
計	8 人	24 人	32 人	100%
平均年齢	81.6 歳	84.0 歳	83.4 歳	—

※障害者含まず

## 18 一日のサービス実施内容

身体機能の維持向上を図り転倒予防に努める脳の活性化を図り認知症の進行予防に努める、気分転換を図り精神的安定を図る等を目的として、複数のメニューから利用者自らが主体的に選択することを重点に置いて取り組んだ。

また、要支援・要介護共通メニューとして口腔機能・運動機能の維持向上や栄養改善に努めた。

	午前のメニュー	午後のメニュー	その他のメニュー
手指 認知 創作 精神安定	入浴 計算問題・国語問題 カレンダー作成 間違い探し・針仕事 折り紙・塗り絵・オセロ 将棋・パズル・編み物 習字・ちねり絵 トランプ・貼り絵	壁飾り作り・ちぎり絵 ・オーナメント作り・習 字・カラオケ・針仕事・回 想法・オセロ・将棋・トラ ンプ・おやつ作り・折り紙 ・買い物体験（リハビリ評 価）・編み物・ハンドベル 各種工作・写経	フェイシャルマッサ ージ 季節ごとの行事 メイク ボランティアの演芸 作品展見学 着付け体験
運動	健康チェック 集団体操	外出・体感ゲーム・輪投げ カローリング・ボーリング テーブルホッケー・散歩 ラジオ体操 季節ごとのゲーム 体操クラブ 体力測定（効果測定）	準備体操・整理体操 ※個別リハビリ 足上げ歩行・蟹歩行 上半身ストレッチ ウォーキングマシン ペダル漕ぎ・平行棒 ゴムバンド運動
口腔	口腔体操・歌	カラオケ・会話・談話	発声訓練・口腔ケア
栄養	水分摂取・体重測定	食事・おやつ	